

| 学校経営計画（計画段階・中間段階・年度末報告） | | | | | | | 評価(9月) | 評価(3月) |
|---|--|-----|---|--|------|----|-----------------|---|
| 学校経営方針 | 生徒の学校生活に、各個人の将来の生き方への意義有る動機付けと展望を持たせる。 校訓「誠実・協力・創造」のもと、国家・社会に貢献し、あわせて人としての心豊かさたくましさを持つ広い視野の人間を育成する。 | | | | | | | |
| 昨年度の成果と課題 | 平成20年度重点目標 | | 具体的目標 | | | | | |
| 教科指導、進路指導、生徒指導の充実と改善に取り組み、進路実績の向上、生徒の授業中の学習態度や出席状態、通学中の態度などに一定の成果が見られた。 生徒の希望進路の実現のため、生活態度を向上させ、学習意欲を一層喚起し目的意識を持たせ真剣に学習に取り組ませねばならない。 | 教育方針スローガン「君の働きを求められるその日のために」に沿い、 1 生徒の進路に対する目的意識をより明確にさせ、進路実現を図る。 2 教育環境を整え、教育資源の活用に努める。 3 進路・修学保障の観点から、出席改善指導及び風紀改善指導を継続して行い、教育相談機能と連携し、生徒とは勿論、保護者との意思疎通を図って、信頼される指導を確立する。 | | 1 HR指導、教科指導で生徒に進路実現の動機付けを行なう。 2 日常の授業・課外補習・対外模擬試験等で学力の到達状況や伸長度を測り、学習指導・進路指導に反映させる。 3 大学等の体験講座やオープンキャンパス、各種の検定やコンクールなど、学校外でのチャレンジ・体験に積極的に取り組ませる。 4 生徒の活動を高め保障する授業を行う。 5 教師自身の目標設定・管理・評価を反映させ、授業に対する自己評価と生徒による授業評価を生かして、授業改善に臨む。 6 授業の開始と終了にけじめを持たせ、教室の美化環境と雰囲気を整え、工夫をした方法・手段を積極的に取り入れる。 7 進路・修学保障の観点から、出席改善指導及び風紀改善指導を継続して行い、教育相談機能と連携し、生徒および保護者との意思疎通を図って、信頼される指導を確立する。 | | | | 3 | 4 |
| 評価項目 | 具体的目標 | 現状値 | 目標値 | 具体的方策 | 自己評価 | | 平成21年度への課題及び改善点 | |
| | | | | | 9月 | 3月 | | |
| 進路保障 | HR指導、教科指導で生徒に進路実現の動機付けを行なう。 | 2 | 4 | 生徒の学習意欲を喚起するために、学習目標や単元到達目標を示した授業を展開する。 学年部と進路指導部が連携して、各学期、時期に応じた計画的な進路ガイダンスを行う。 | 3 | 4 | 3 | 学習目標や単元到達目標を示すためにシラバスの活用や単元シラバスの作成を検討する。 進路ガイダンスのための進路HRの時間確保と展開のし方や活用資料の整えを行う。 |
| | 日常の授業・課外補習・対外模擬試験等で学力の到達状況や伸長度を測り、学習指導・進路指導に反映させる。 | 2 | 4 | 学年部及び各教科で、定期考査や模擬試験の対策や結果分析を行い、以後の学習指導や進路指導に活かせる指導方法を明確にし協同して取り組む。 | 3 | 4 | 4 | 模試の結果分析を、単に点数や偏差値、分布状況にとどめず、設問ごとに正答率等を分析し、授業での指導内容改善につながる分析まで行う必要がある。 |
| | 大学等の体験講座やオープンキャンパス、各種の検定やコンクールなど、学校外でのチャレンジ・体験に積極的に取り組ませる。 | 3 | 5 | HRで日程等の情報提供を随時行って、上級学校の体験入学やオープンキャンパス参加を促す。 英語検定や外部実施の模擬試験の受験督励のため、受験案内や詳細情報を各部で連携して提供する。 | 4 | 4 | 4 | 体験入学やオープンキャンパスへの個人参加はもちろん、学年・学校参加を検討する。 センターリアルタイム模試など、現在以上の模試全員参加を検討し実現させる。 |
| 授業改善 | 生徒の活動を高め保障する授業を行う。 | 3 | 4 | 生徒の発表、討論、実験・実技・実習等の目に見える活動及び、思考・推論・想像、傾聴、感動等の目に見えない活動を重視する授業方法や授業内容を工夫する。 | 3 | 4 | 4 | 授業改善のための年間複数回の授業見学を継続して行い、他者の授業見学から生徒の活動を高める授業方法等を学び取り、生徒の活動を高める授業を改善構築する。 |
| | 教師自身の目標設定・管理・評価を反映させ、授業に対する自己評価と生徒による授業評価を生かして、授業改善に臨む。 | 3 | 4 | 自己評価の当初面談や最終面談を通して、各教師の授業改善への取り組みの具体策を明らかにする。 年間3回、同教科や他教科の相互授業見学を行い、報告書を提出して年度末反省を行う。 | 3 | 4 | 4 | 個々の教師が取り組む授業改善から、教科全体が取り組む授業改善に発展させていく。 個々自由に任された授業見学の他、授業見学週間の設定や研究授業の実施を検討する。 |
| | 授業の開始と終了にけじめを持たせ、教室の美化環境と雰囲気を整え、工夫をした方法・手段を積極的に取り入れる。 | 3 | 4 | チャイムと同時に授業を開始することを教師・生徒全員で申し合わせて実行する。 教室清掃や私物の整理整頓、机の並びの乱れを正す指導と点検を学級担任・教科担任が常時行う。 | 3 | 3 | 3 | 状態が改善されてきているが、より一層指導強化を徹底して行い現在以上の状態を目指す。 整理整頓がなされた落ち着いた教室環境で学ばせ、進路実現目指して学習成果を上げる。 |
| 生徒指導 | 進路・修学保障の観点から、出席改善指導及び風紀改善指導を継続して行い、教育相談機能と連携し、生徒および保護者との意思疎通を図って、信頼される指導を確立する。 | 3 | 4 | 出席や服装等の整えの大切さを、HRや集会、全体集合時等の機会に継続して諭す。 | 3 | 4 | 4 | 全体的に服装が正されてきてはいるが、細部ではまだ不十分な点が見受けられる。 各種委員会や研修会を定期的の実施し、生徒に関する情報提供や共有を一層推進する。 |
| | 生徒指導や教育相談の委員会や研修会を充実させ、情報交換や実態把握を行って問題に対処する。 | | | 4 | 4 | | | |